

株式会社 **PLANT**

2026年9月期 決算概要

売上高

96,018百万円

.....
前期比 ▲1.8%
予想比 +0.5%

営業利益

1,668百万円

.....
前期比 ▲16.9%
予想比 +11.2%

営業利益率

1.74%

.....
前期比 ▲0.31P
予想比 +0.17P

- 前期比におきましては、前年との天候差に伴う季節商品の需要変化への対応が十分でなかったことや、中東情勢の影響によるガソリン販売環境の悪化により、売上高・営業利益は前期実績を下回る結果となりました。
- 予想比におきましては、ガソリンへの影響緩和や収益性を意識した商品施策の推進により、売上高・営業利益ともに修正予想(4月28日公表)を上回って着地いたしました。

損益状況

(単位:百万円)	2025年9月期	2026年9月期	前期比増減額 (増減率)
売上高	97,764	96,018	▲1,745 (▲1.8%)
売上総利益	22,313	21,911	▲402 (▲1.8%)
売上総利益率	22.82%	22.82%	±0.00P
販売費及び 一般管理費	20,307	20,242	▲64 (▲0.3%)
営業利益	2,006	1,668	▲338 (▲16.9%)
営業利益率	2.05%	1.74%	▲0.31P
EBITDA (営業利益+減価償却費)	3,292	3,028	▲264 (▲8.0%)
経常利益	2,131	1,753	▲377 (▲17.7%)
当期純利益	1,345	1,298	▲47 (▲3.5%)

2026年9月期 業績予想 (2026年4月28日修正)	達成率
95,500	100.5%
—	—
—	—
—	—
1,500	111.2%
1.57%	—
—	—
1,600	109.6%
1,100	118.1%

損益状況(四半期別)

売上総利益率は、雑貨の不動産在庫処分や、ガソリン販売環境の変化による影響があったものの、第2・第4四半期では収益性を意識した商品施策の推進により改善し、通期では前年と同水準を確保いたしました。

(単位:百万円)	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	2025年 9月期	2026年 9月期	前期比 増減額 (増減率)	2025年 9月期	2026年 9月期	前期比 増減額 (増減率)	2025年 9月期	2026年 9月期	前期比 増減額 (増減率)	2025年 9月期	2026年 9月期	前期比 増減額 (増減率)
売上高	23,559	23,277	▲281 (▲1.2%)	24,706	24,277	▲428 (▲1.7%)	24,052	23,769	▲282 (▲1.2%)	25,446	24,693	▲753 (▲3.0%)
売上総利益	5,330	5,217	▲112 (▲2.1%)	5,615	5,639	+24 (+0.4%)	5,583	5,376	▲206 (▲3.7%)	5,784	5,676	▲108 (▲1.9%)
売上総利益率	22.63%	22.42%	▲0.21P	22.73%	23.23%	+0.50P	23.21%	22.62%	▲0.59P	22.73%	22.99%	+0.25P
販売費及び 一般管理費	4,894	4,928	+33 (+0.7%)	5,070	5,037	▲33 (▲0.7%)	5,005	5,040	+34 (+0.7%)	5,335	5,235	▲100 (▲1.9%)
うち人件費	2,974	2,967	▲7 (▲0.2%)	3,138	3,122	▲16 (▲0.5%)	3,093	3,080	▲12 (▲0.4%)	3,087	3,195	+108 (+3.5%)
うち水道光熱費	388	348	▲39 (▲10.2%)	399	356	▲42 (▲10.7%)	354	311	▲42 (▲12.0%)	477	428	▲48 (▲10.1%)
うち減価償却費	314	332	+18 (+6.0%)	326	337	+10 (+3.3%)	322	344	+21 (+6.6%)	321	344	+23 (+7.2%)
営業利益	435	289	▲146 (▲33.6%)	544	602	+57 (+10.6%)	577	335	▲241 (▲41.8%)	449	440	▲8 (▲1.8%)
営業利益率	1.85%	1.24%	▲0.61P	2.20%	2.48%	+0.28P	2.40%	1.41%	▲0.99P	1.76%	1.79%	+0.02P
EBITDA (営業利益+減価償却費)	749	622	▲127 (▲17.0%)	870	939	+68 (+7.9%)	900	680	▲220 (▲24.5%)	770	785	+14 (+1.9%)

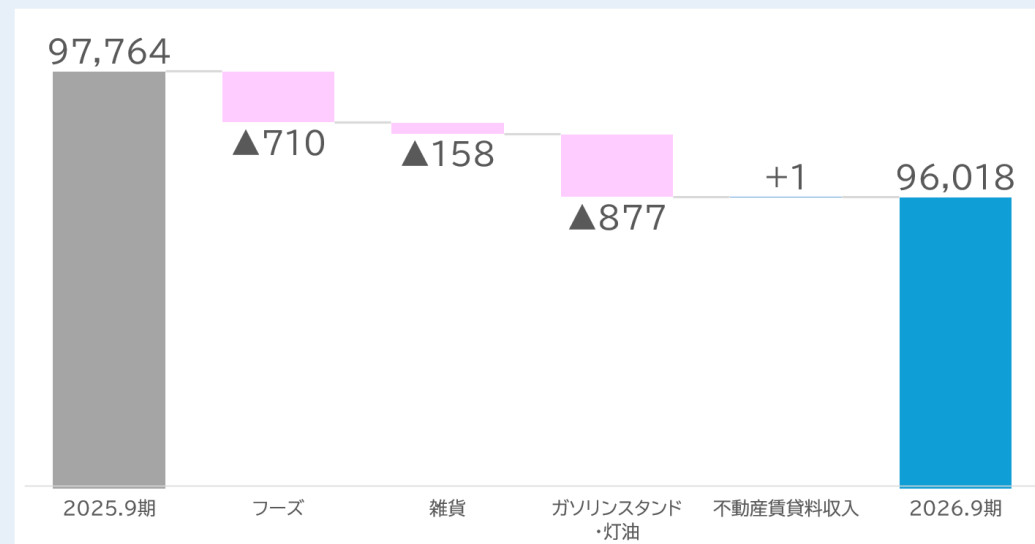
売上内訳

(単位:百万円)	2025年9月期	2026年9月期	前期比増減額 (増減率)
フーズ	65,228	64,518	▲710 (▲1.1%)
雑貨	23,598	23,439	▲158 (▲0.7%)
フーズ・雑貨合計	88,826	87,957	▲868 (▲1.0%)
ガソリン・灯油	8,524	7,646	▲877 (▲10.3%)
不動産賃貸料収入	413	414	+1 (+0.3%)
合計	97,764	96,018	▲1,745 (▲1.8%)

売上高は96,018百万円となり前期比1.8%の減収となりました。フーズ・雑貨の売上高が同1.0%減となる一方、ガソリン・灯油は同10.3%減となり、全体の減収額の約半分を占めました。

特に既存ガソリンスタンド(灯油スタンド・新設2店舗のガソリンスタンドを除く)の売上高は前期比1,341百万円、16.3%の減収となっており、ガソリン販売の苦戦が全体の売上高を押し下げる大きな要因となりました。

売上高の増減要因(単位:百万円)



当期は、前年との天候の違いにより季節商品の需要が伸び悩み、フーズ・雑貨の売上高が前年を下回りました。こうした外部環境の変化に対し、価格強化や付加価値商品の拡販などによる売上増を図りましたが、季節商品の販売減少をカバーすることはできませんでした。

フーズは、通期で前期比710百万円の減収(1.1%減)となりました。特に第4四半期は、飲料・酒・アイスなどの販売が伸び悩み、前年同期比500百万円の減収(2.9%減)となりました。

雑貨は、通期で前期比158百万円の減収(0.7%減)となりました。衣料品や海水浴・バーベキュー関連用品などの季節商品が低調に推移し、第1四半期は前年同期比192百万円の減収(3.2%減)、第4四半期は同94百万円の減収(1.5%減)となりました。

石油化学製品の供給不安を背景とした紙製品・洗剤・ゴミ袋・ラップなどの日用品の需要増加への対応や、冬季の少雪を踏まえた園芸用品の販売強化に取り組みましたが、季節商品の減収を補うには至りませんでした。需要の変化に応じた販売機会を十分に捉えきれなかった点を、当社の課題として認識しております。

一方、商品開発を強化しているベーカリー・惣菜の売上高は、通期で前期比84百万円の増収(1.2%増)となりました。今後は、需要の変化に応じて品揃えや販売施策を機動的に見直すとともに、ベーカリー・惣菜の商品開発を通じて他店との差別化と来店動機の創出を図り、天候などの外部環境に左右されにくい売場づくりを進めてまいります。

売上内訳(四半期別)

ガソリン・灯油は、第2四半期は暫定税率廃止に伴う単価低下、第3四半期以降は中東情勢の影響による販売環境の変化により減収となりました。一方、雑貨は第3四半期に紙製品などの需要増への対応により増収となり、フーズも回復傾向がみられましたが、第4四半期は前年との天候差により飲料などの季節商品の販売が伸び悩んだことに加え、前年の備蓄米販売の反動もあり、フーズは大きく減収となりました。

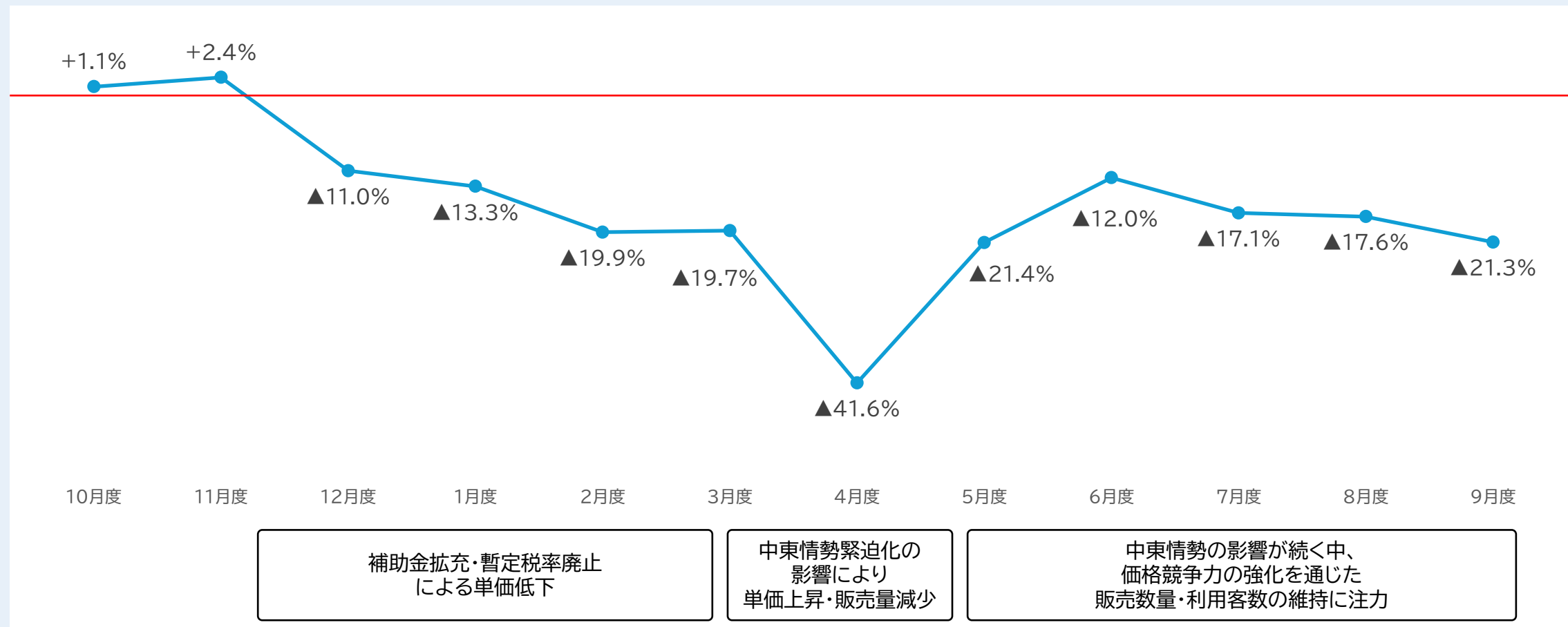
(単位:百万円)	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	2025年 9月期	2026年 9月期	前期比 増減額 (増減率)	2025年 9月期	2026年 9月期	前期比 増減額 (増減率)	2025年 9月期	2026年 9月期	前期比 増減額 (増減率)	2025年 9月期	2026年 9月期	前期比 増減額 (増減率)
フーズ	15,403	15,363	▲39 (▲0.3%)	16,603	16,491	▲112 (▲0.7%)	16,211	16,154	▲57 (▲0.4%)	17,009	16,508	▲500 (▲2.9%)
雑貨	6,004	5,812	▲192 (▲3.2%)	5,507	5,491	▲16 (▲0.3%)	5,787	5,933	+145 (+2.5%)	6,297	6,202	▲94 (▲1.5%)
フーズ・雑貨合計	21,408	21,176	▲232 (▲1.1%)	22,111	21,982	▲129 (▲0.6%)	21,999	22,087	+88 (+0.4%)	23,306	22,711	▲595 (▲2.6%)
ガソリン・灯油	2,050	2,000	▲50 (▲2.4%)	2,491	2,194	▲297 (▲12.0%)	1,946	1,577	▲368 (▲18.9%)	2,034	1,874	▲160 (▲7.9%)
不動産賃貸料収入	99	100	+1 (+1.1%)	102	101	▲1 (▲1.4%)	106	104	▲1 (▲1.5%)	104	107	+3 (+3.0%)
合計	23,559	23,277	▲281 (▲1.2%)	24,706	24,277	▲428 (▲1.7%)	24,052	23,769	▲282 (▲1.2%)	25,446	24,693	▲753 (▲3.0%)

既存ガソリンスタンドの販売動向

既存ガソリンスタンド売上▲16.3% = 販売数量▲12.4% × 単価▲4.4%

これまで売上を牽引していたガソリンは、3～4月の中東情勢の緊迫化に伴う販売環境の変化を受け、販売数量が減少しました。

売上高 前期比増減率

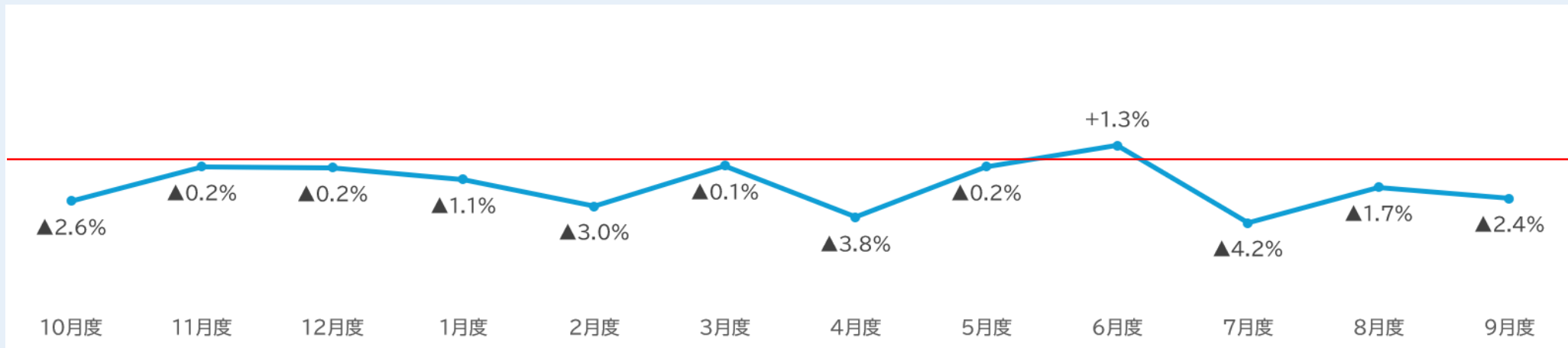


売上高・客単価・客数推移

売上高

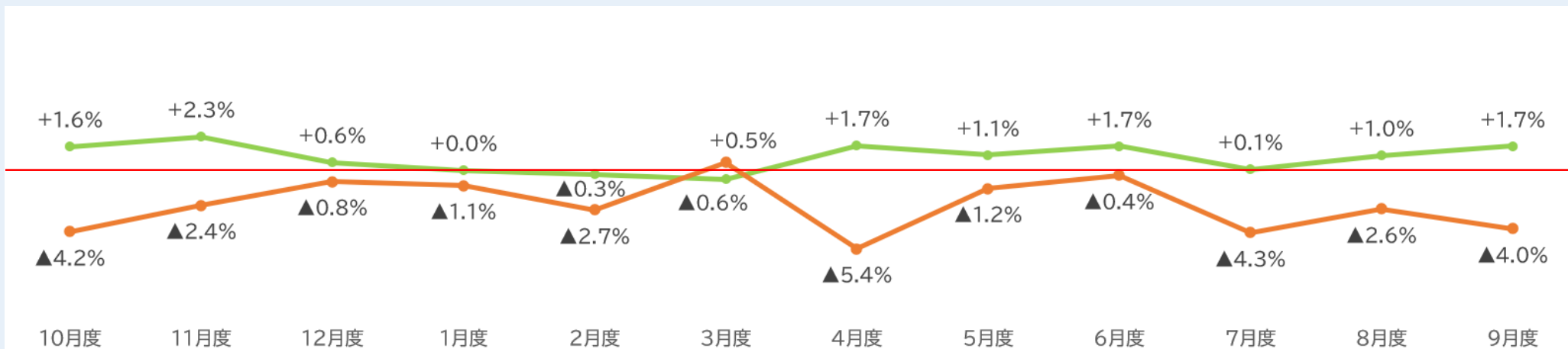
▲1.5%

※POSデータ
に基づく



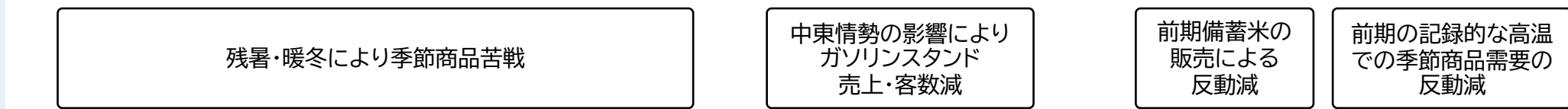
客単価

+0.9%



客数

▲2.4%



残暑・暖冬により季節商品苦戦

中東情勢の影響により
ガソリンスタンド
売上・客数減

前期備蓄米の
販売による
反動減

前期の記録的な高温
での季節商品需要の
反動減

販売費及び一般管理費

(単位:百万円)	2025年9月期	2026年9月期	前期比増減額 (増減率)
人件費	12,294	12,366	+72 (+0.6%)
水道光熱費	1,619	1,446	▲173 (▲10.7%)
減価償却費	1,285	1,359	+74 (+5.8%)
その他	5,107	5,069	▲37 (▲0.7%)
合計	20,307	20,242	▲64 (▲0.3%)

セルフレジの拡大などによる作業効率改善が寄与し労働時間は前年比2.1%減少したものの、賃金水準の引き上げにより人件費は増加となりました。

節電設備の導入効果や、電力調達コストの低減により、水道光熱費は減少となりました。

ガソリンスタンド2店舗の新設やDX投資などにより減価償却費は増加となりました。

貸借対照表

(単位:百万円)	2025年9月期末	2026年9月期末	増減
流動資産合計	15,800	15,553	▲246
うち 現金及び預金	3,699	3,470	▲228
うち 商品	8,774	8,654	▲120
固定資産合計	21,208	20,944	▲263
資産合計	37,009	36,498	▲510
流動負債	11,620	10,832	▲788
固定負債	10,067	9,560	▲506
負債合計	21,688	20,393	▲1,294
うち 有利子負債 (長期借入金・リース債務)	6,191	5,659	▲532
純資産合計	15,321	16,104	+783
うち 自己株式	▲1,301	▲912	+389
負債純資産合計	37,009	36,498	▲510
自己資本比率	41.4%	44.1%	+2.7P

2026年9月期末時点では、手元の現預金に加え金融機関2行とのコミットメントライン契約により総額20億円の融資枠を確保しております。これにより必要に応じて機動的かつ安定的に資金調達できる体制を整えております。※2026年10月の契約更新において同枠を30億円へ増額し、資金調達体制をさらに強化しております。

雑貨の不動在庫処分などにより商品は前年から120百万円減少しました。

有利子負債の返済などにより負債は1,294百万円減少し、自己資本比率は44.1%と前年から2.7P上昇しました。

2026年5月に自己株式247,000株を消却しました。

売上高

97,312百万円

前期比 +1.3%

営業利益

1,900百万円

前期比 +13.9%

経常利益

1,950百万円

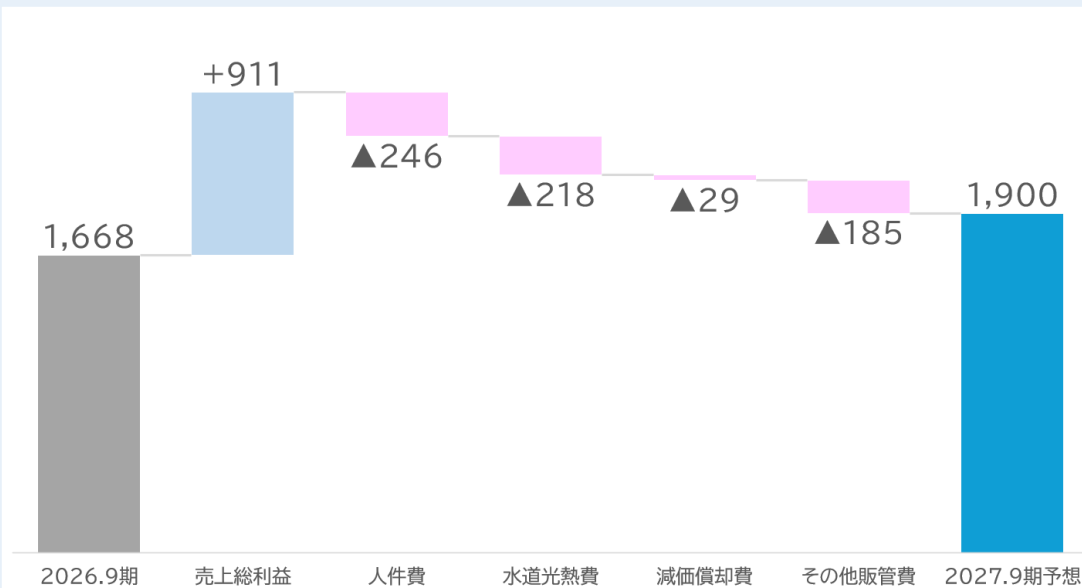
前期比 +11.2%

当期純利益

1,365百万円

前期比 +5.1%

営業利益の変動要因(単位:百万円)



中期経営計画に沿った収益改善施策により売上総利益率・営業利益の改善を図ります。

- 収益性を意識した付加価値商品の販売強化や、AIを活用した発注精度向上や値引きの適正化によるロス削減を進め、売上高の増加と売上総利益率の改善を図ります。
- 省力化による労働時間の抑制を進める一方、賃金水準の引き上げを継続することから、人件費は増加を見込んでおります。
- エネルギー使用量の抑制に取り組むものの、電力単価の上昇を織り込み、水道光熱費は増加を見込んでおります。
- 既存店活性化に向けた売場リニューアルを継続的に実施し、関連経費を見込んでおります。

株主還元

年間配当金95円・総還元性向48.0%・DOE4.0%を予想しております。

方針:配当や自己株式取得等により、当期純利益額の30%以上、DOE4.0%程度を目安に株主へ還元

	実績				予想
	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	2027年9月期
第2四半期末配当金	5.00円	20.00円	30.00円	40.00円	40.00円
期末配当金	27.00円	30.00円	45.00円	55.00円	55.00円
年間配当金	32.00円	50.00円	75.00円	95.00円	95.00円
配当金総額 … A	247百万円	353百万円	517百万円	655百万円	655百万円
自己株式取得 … B	164百万円	1,301百万円	0百万円	0百万円	0百万円
総還元額 … A+B	412百万円	1,655百万円	517百万円	655百万円	655百万円
当期純利益 (特別損益を除外し算出)	1,269百万円	1,564百万円	1,482百万円	1,298百万円	1,365百万円
総還元性向 (特別損益を除外した 当期純利益より算出)	32.5%	105.8%	34.9%	50.5%	48.0%
DOE (純資産配当率)	1.6%	2.4%	3.5%	4.2%	4.0%

本資料は、投資家の皆様に当社についての理解を深めていただくことを目的として作られたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料中の業績予想等に関する記述につきましては、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績は、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

実際の業績等は、経営環境の変動、不可抗力等によって大きく異なる可能性がありますのでご注意ください。